

# コース 甲州街道と神田川

(約 6.4km 京王線芦花公園駅～桜上水駅)

甲州街道ぞいの上・下高井戸村の古刹と神田川流域の遺跡群をめぐる

約11,000歩

- 1** <sup>ちようせんじ</sup>長泉寺 (3304)9825 上高井戸 1-18-11  
烏山(世田谷区)から明暦元(1655)年に移転した曹洞宗寺院。上高井戸宿で旅籠「武蔵屋」を営み、本陣を務めたとされる**並木氏の墓**があります。
- 2** <sup>ほうれき</sup>宝暦四年銘 <sup>しやうめん</sup>青面 <sup>りゅうぞう</sup>金剛立像 上高井戸 2-11  
上高井戸村の人々が造立した庚申塔で、銘文には建立に関わった15人の名がみえます。江戸中期の標準的な作例です。
- 3** <sup>いおうじ</sup>医王寺 (3302)5867 上高井戸 1-27-15  
「おめだま薬師」と呼ばれ、眼病平癒祈願で知られます。「薬師の池」に魚を放流すると、眼病が治るかわりに魚が片目になるといふ伝説があります。平安初期の開創と伝わる真言宗(智山派)寺院です。
- 4** 甲州道中一里塚跡 下高井戸 1-41  
現在の甲州街道と首都高速4号線の分岐点あたりにありました。日本橋から4里目(約16km)を示しています。
- 5** 下高井戸塚山遺跡 下高井戸 5-23  
武蔵野台地最古級の旧石器が発見され、区の指定文化財となっています。また、古くから縄文時代中期の環状集落としても有名で、出土した土器には華やかな文様が施されています。
- 6** 鎌倉橋 下高井戸 4-43  
**4**から北に延びる通称「鎌倉街道」が神田川をわたす橋は、江戸時代の地誌『武蔵名勝図会』に「鎌倉街道ゆえ鎌倉橋」と記されています。
- 7** 下高井戸八幡神社 (3329)0837 下高井戸 4-39-3  
下高井戸村の鎮守社。古くから伝わる「面芝居」がありましたが、昭和初期に絶え、今は面のみが残されています。
- 8** 神田川と古代遺跡 下高井戸 3-26-1  
井の頭池を水源とし、善福寺川や妙正寺川などを併せて隅田川に注ぎます。流域には古代人の遺跡が数多く発見されているほか、江戸時代には神田上水と呼ばれ、神田地域(千代田区)に飲料水を供給する役割を果たしました。
- 9** <sup>そうげんじ</sup>宗源寺 (3302)0413 下高井戸 4-2-3  
江戸初期には下高井戸村に創建されていた日蓮宗寺院でしたが、現在は単立寺院です。樹齢350年以上という**ラカンマキ**が立派です。また高井戸の地名由来の一つである本覚院(明治5(1872)年に廃寺)の不動堂も移築されています。
- 10** <sup>かくそうじ</sup>覚蔵寺 (3303)7337 下高井戸 3-4-7  
日蓮宗寺院。安置されている鬼子母神像は、日蓮上人の作と伝わり、『江戸名所図会』にも記されています。

ワンポイント解説

## ～甲州街道高井戸宿～

甲州街道は江戸時代における五街道の一つで、甲斐・信濃や多摩地方の商品作物を江戸に運ぶ輸送路として重要な役割を担いました。高井戸宿は、甲州街道の初宿として整備され、上・下高井戸宿が半月交代で宿駅業務を果たす「合の宿しゆく」です。内藤新宿が開設されたあとは、第二の宿となりました。